

Happyなコミュニティ・ライフを始めよう！

地域で、自分の力を生かしてみませんか？

私たちの手で緑町をきらきらさせたい。
一人ひとりが輝いて、つながっていけるまちに

◆ 緑町きらきらプロジェクト

「緑町の未来を皆で一緒に考えて行きたい」「地域で何かしたい」という声がかきかけとなり、'07年7月より地域振興・福祉・環境の3つのテーマでさまざまな取り組みをしている。



歩いて見つけよう！緑町の魅力。

賑やかだった商店街もシャッターを閉める店が目立ち、また高齢者が増えてきている緑町。日々の生活を支えてきた商店街を元気にすることこそ、まちの活性化につながるのだと考えた。そこで、地域振興として商店街のマップを作り配布した。商店街の魅力を発見し伝えることで、地域の理解とつながりが深まった。同時に緑町きらきらプロジェクトへの信頼を得ることができた。

また、高齢者総合センター藤棚の下でコミュニティカフェを開いたことで、子どもから高齢者まで世代をこえて交流し、地域に関心を持つきっかけにもなった。東学園の子どもたちの参加もあり、つながりが広がったことは嬉しい。高齢者から子育て世代、障がいを持つ人たち、誰もが気軽に足を運べる商店街やカフェがあることは、まちの福祉にもつながっていくだろう。環境整備として、商店街東側市道を統一感のある町並みにするため、季節の花を植え育てている。



地元商店街の焼き菓子を食べながら話はずみずみ。

近隣にオープンした大型スーパーと共存していくためにも、今を「まちづくり」を考えるチャンスにしたい。代表の白石さんは、緑町の未来を考えると、きらきらわくわくすると言う。「気負わずゆるやかに活動していきたい」。取材 戸田真帆子(文)

●緑町きらきらプロジェクト

有志によるネットワークグループ。これまで、「緑町マップ&ニュース」No.1、No.2を発行。コミュニティカフェを2回開催している。今後の活動ニュースは随時発行予定。
TEL/FAX：53-9936（白石さん）

ひとりで悩んでいませんか？さまざまな発達障害、学習障害を支えていく保護者のための居場所作り

◆ tuttiトウッティ

'08年9月にtuttiを立ち上げた相澤さん、伊藤さん、篠原さんの3人はともに障害を持つ子どもの母親だ。



右から篠原さん(事務局)、相澤さん(代表)、伊藤さん(副代表)。tuttiは音楽の演奏記号で「みんなだ」という意味。相澤さんはピアノの先生。

相澤さんと篠原さんはPTA会長を務めたことで、また相澤さんと伊藤さんは子どもが同じ都立の特別支援学校に通うことで知り合った。同じ悩みを抱えた人たちが集まり、相談し合える場が欲しいと思っていた相澤さんたち。「それなら自分たちで始めてみたら？」という周りのアドバイスと提供してもらえる場があったことで、tuttiは始まった。それぞれの子どもは、状況もたどってきた経緯も異なる。しかし今までの自分たちの経験を合わせれば力は3倍になり、仲間の輪は広がる。「子どものことをオープンに話せるようになったのは、障害が親や子のせいではないと思えるまで乗り越えたから」と篠原さんは言う。

自分たちの経験からも、障害のある子どもの親は自分を責め、悩みをひとりで背負ってしまう人が多いという。そのためにもこの会を立ち上げて悩んでいる人を助けたい、頼りにしてほしいという思いだ。障害に関する情報はインターネットなどで知ることができるが、不安がつきまとう。実際に会って話してつながり合う。行政支援だけでは補いきれない横のつながりを作る。「同じ立場で何か助言ができるはず。乗り越えられるきっかけができるかもしれない…話せばストレス発散にもなるので、気軽に立ち寄ってみて」と3人は明るく話した。

取材 林 直子(文)

●tutti 活動日は、毎月第2・4水曜日 10:00～12:00(予定)
ワ・ミュージックサロンにて

E-mail: tutti-kichijoji@live.jp(事務局) TEL: 090-8089-2734(相澤さん)
ブログ: <http://ameblo.jp/tutti-kichijoji/>
武蔵野市市民活動情報サイト(<http://musashino.genki365.net/>)にも掲載

◆ 地域で活動を始めるとのお手伝い

吉祥寺レンタルサロン **ワ・ミュージック**

NPO法人むさしの経営支援パートナーズが運営するスペース、ワ・ミュージックは'08年8月にオープンした。地域の市民団体やNPO、趣味の教室の場、起業家のチャレンジショップとしてなど、さまざまな人が交流する場所を目指している。サンロード商店街という有利な立地条件を生かして、自由な発想で使うことができる。



武蔵野市吉祥寺本町1-11-27 瑠璃ビル3階
TEL: 27-7288
9:30～17:00(平日)
NPO法人むさしの経営支援パートナーズ
<http://www.musashino-kp.net>

プライベート感覚で利用できるサロン。窓の外は月窓寺の樹木も見える。ワ・ミュージック企画「洋服の交換会 x Change」は毎月第3木曜日の予定。



コミュニティカフェ から始めよう!

人と人の顔が見える、安心して暮らせる町でありたい。コミュニティカフェにはそんな願いが込められている。市内の3つのカフェを訪れた。

コミュニケーションカフェ こもれび

「学生のうちにカフェがやりたい!」亜細亜大の御園さんの夢が実現する。「こもれび」は市と商工会連合会、商店街の支援で、学生と地域住民の交流を目的にオープン。コーヒーの入れ方や接客は喫茶店のマスターから、コミュニケーションは地域の方から学んだ。時には厳しいお叱りを受けつつも、人の優しさや温もりに触れる。カフェが学生の夢と地域をつなぎ、コーヒーが人との関係を温める。「この町は私の第二の故郷」と片柳さん。



こもれび

境南町富士見通り商店街のコミュニティスタジオ「ハートランド富士見」。毎週木曜日11:00~19:00。コーヒー200円、シュウクリーム150円。コーヒー豆、スイーツは地元の商店のもの。
TEL: 39-5347(ハートランド富士見)

コーヒーの香りとともに会話も広がる。左から2番目が御園さん、3番目が片柳さん。

南町コミセン みーなカフェ

地域通貨「みーな」はちょっとしたお手伝いや親切への感謝の気持ちを形にし、やりとりするもの。カフェは「みーな」を使える場の一つとして始めた。「ささやかですが、ちょっぴり幸せなひとときを提供できたら」とスタッフの黒木さん。毎回楽しみにしてくれるサークルの方々や常連の親子連れも。自分たちも楽しんでいるから続けられる。「出会った人と何か新しいことを始められたら素敵ですね」と夢はふくらむ。



みーなカフェ

吉祥寺南町コミセン。毎月1回土曜日14:00~17:00。コーヒー・手作りお菓子各100円(2みーな)。お手製の小物を持ち寄り手作りマーケットや「お仕事コーナー」も不定期で併設。

TEL: 090-1556-7718(黒木さん)

カステラをほおぼり、満面の笑み。

市民協働サロンカフェ

「市民協働サロン」はNPOや市民活動の推進や交流のために'07年秋に開設。武蔵野市NPO・市民活動ネットワークが市の委託を受けて運営する。カフェはサロンのPRや登録団体と市民の出会い・交流の場。温かいお茶やお菓子に参加者のおしゃべりもはずむ。「情報交換で横のつながりが生まれたり、同じ地域で生活し活動しながら、出会わなかった人同士がつながっていくのが何よりの励み」とスタッフの前川さん。

市民協働サロンカフェ

市役所西棟7階市民協働サロン。毎月原則第4土曜日、13:00~16:00。登録団体の活動紹介を中心とした参加者の自由な交流。無料。
TEL: 60-1939(市民協働サロン)



この日の団体は武蔵野こども合気道クラブ。

取材 遠藤梨栄(文)

TOPICS ■■■ 市民協働推進課 男女共同参画担当では ■■■

■平成21年度男女共同参画推進団体の登録・更新について

女性の社会進出の支援など男女共同参画の推進を目指す活動をしている団体を「男女共同参画推進団体」として登録しています。

対象は、男女共同参画社会の実現に向けての活動を主たる目的として、継続的かつ計画的に活動する団体で、登録の要件には「団体の構成人員が5人以上で、原則として3分の2以上が武蔵野市内に在住」などがあります。(その他の登録要件は市のホームページ「男女共同参画推進団体登録手続」をご覧ください。電話でお問合せください。)

登録団体は団体活動補助金(上限5万円)の交付申請、むさしのヒューマン・ネットワークセンターの印刷機使用料の半額免除やロッカーの年間使用などができます。

現在登録中の団体で、21年度の登録継続、または抹消を希望される場合は、送付済申請書を4月30日(木)までに提出してください。期日までに登録申請のあった団体は、団体名簿に登録し一般に公開します。

なお、新規登録は、随時受け付けております。

■市民がつくる男女平等情報誌『まなこ』レポーター募集

家庭、地域、社会、労働の場などで女性・男性が共に抱えている問題について関心がある方、活動している方で『まなこ』のレポーターをやっていただける方(ボランティア)を募集します。

主な活動 ①年4~5回のレポーター会議出席(3ヶ月以上就学前のお子さんの保育あり)

②各号のテーマに関する意見、提言、情報などのアンケート提出

③取材協力、記事の提供など。

募集 市内在住・在勤・在学の方。10名程度(超えた場合は調整あり)。任期は1年間(平成22年3月31日まで)。

申込み はがき・FAXで4月7日(火)までに

①住所②氏名(ふりがな)③電話番号

④わたしの興味ある『まなこ』のテーマ(100字程度)

⑤(あれば)活動団体

を記入し、市民協働推進課男女共同参画担当まで。

■企画政策室市民協働推進課 男女共同参画担当

TEL 0422(60)1869 FAX 0422(51)9540

URL <http://www.city.musashino.lg.jp/>

平成20年度 第4回 レポーター会議

73号 「【知る】喜び～まなこと学ぶ」を読んで

- いろいろなジャンルの学びが紹介されているので、自分にあった学びを選ぶことができそう。探せばあるのだと思った。(40代・女性)
- 「武蔵野メンズクッキング」にレポーターとして参加した。皆さんいきいきとしていた。男性もきっかけさえあれば、料理をするはず。30・40歳代向けの男性料理教室があれば参加したい人はたくさんいると思う。(60代・男性)
- 今まで知らなかった学びの場もあり、自分にとって有益な情報があつた。(20代・女性)
- 「ブッペンブッペン」にレポーターとして参加した。子どもと一緒にだったので集中するのはむずかしかったが、外出の機会になり満足できた。子育て中の方たちが運営しているのが、すごいなと思った。(30代・女性)
- 景気悪化の中、市でも男女に限らず再就職支援のための学びの場があればいいと思う。(30代・女性) (60代・男性)

74号 「特集1-わたしたちの男女共同参画計画ができました！」に向けて

- 社会で今、起きていることが、どのように男女共同参画計画とつながっているのか、また計画によって、これからの生活の何がどう変わっていくのかが知りたい。(20代・女性)
- 男女共同参画計画を自分の生活の身近なこととして、具体例で知りたい。(30代・女性)
- 男性にしかできないこと、女性にしかできないことをお互い補い合っていくのが男女共同参画ではないか。(40代・女性)
- 女性は地域ではとても活躍しているが、地域だけでなく、どまらずもっと広く社会にも進出してほしい。(60代・男性)



1月13日(火)
10:00～12:00
市役所411会議室にて

BOOKS

むさしのヒューマン・ネットワークセンターの蔵書の中から



● ボランティア・デビューのすすめ

～55歳からでも遅くない

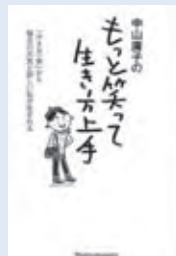
小野博明編著 旬報社ブックス



55歳といえば、60歳以降のことがよく見えてくる時期です。本書は「定年は人生の一つの岐路。これを機に、新しい分野でもっと自由に、もっとやりがいを感じながら、社会との関わりを持ち“生きがい”を実感しては？」と提案しています。ボランティアは、すぐできること、好きなこと、楽しいことから始めよう。国内外の資料とともに、具体的な情報が満載。

● 中山庸子のもっと笑って生き方上手

中山庸子著 主婦の友社



「笑う門には、福来る」。いわゆるポジティブシンキング。物事をどちら方向にとらえるかで、人生の豊かさは左右されるもの。なんだかかわからないけど、とりあえず笑ってしまおう。それだけでなぜか自分の周りは変化してくる。

ミドルからシニアのための雑誌『ゆうゆう』に連載されたイラスト・エッセイ。そろそろ第二の人生…きっと何かのヒントになるはず。

武蔵野市境 2-10-27 武蔵野市政センター 2階 TEL・FAX 0422 (37) 3410
E-mail mhnc@tokyo.email.ne.jp URL http://www.mhnc.jp/

編集後記

★ postscript ★ postscript ★ postscript ★ postscript

★ STAFF

レポーター 井上牧子 田中 博
新倉育男 橋本光枝
林 直子 藤元ちえ
取材・編集 作部径子(編集長)
遠藤梨栄 清原理恵
戸田真帆子 林 直子
守谷洋子
編集協力 栗原 毅
表紙デザイン きたもりちか
レイアウト 小井戸厚子
印刷 社会福祉法人
東京コロニー

- 出会い、知り合い、わかりあう。人は皆つながりあいたい。コミュニティカフェから始まる地域生活。(遠藤梨栄)
- 「子育ては楽し」そんなパパたちの地域デビュー。新たな視点を教えてくれた取材でした。(清原理恵)
- 『まなこ』は私の「確かな一歩」になりました。出会った方々に心から感謝しています。(戸田真帆子)
- 地域参加は、気構えない信頼関係を作っていくことが大切だと感じた。(林 直子)
- ここに住んで20年。今回、地域のことを改めて知った。喃めば喃むほど味が出る？武蔵野市。(守谷洋子)
- 男女共同参画計画が自分の生活に関わりのあることと考えたい。チェンジする力は私たちにあります。(作部径子)
- ★ 平成21年度の年間テーマは「身近なことから始めよう(仮)」。7月15日発行予定の75号では「みんなでやれば、ラクラク家事(仮)」を特集します。掃除・洗濯・炊事・・・暮らしの中で、家事は毎日のこと。みんなで楽しく家事をする方法を考えてみませんか？